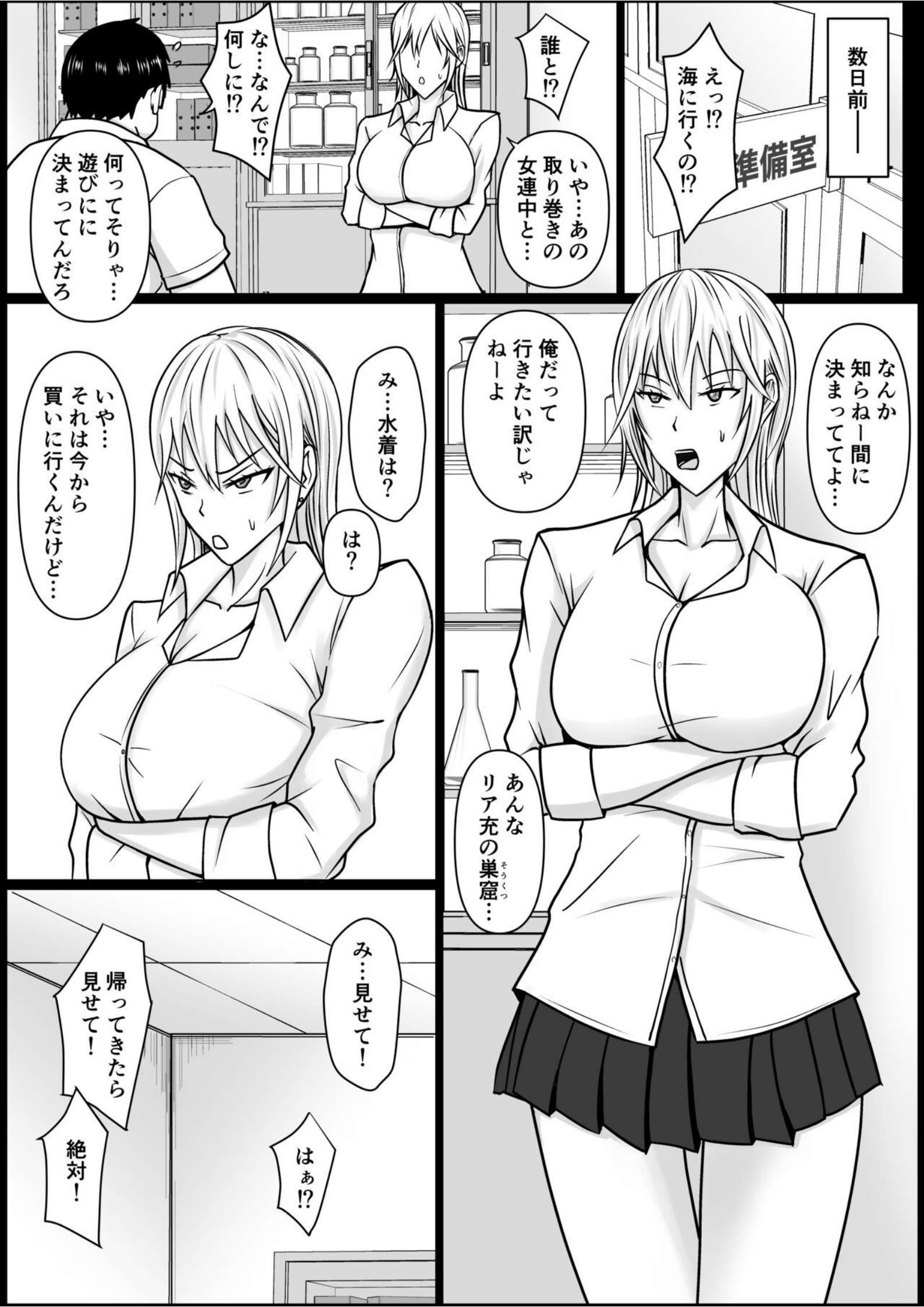

クラスのヤンキー女子に憑依2
許さない…！
こいつ…！
こいつ…！
おらおらどうした!?腰くねってんぞ！
あぁ
おぉおぉ
R-18
ADULT ONLY
TSF78P

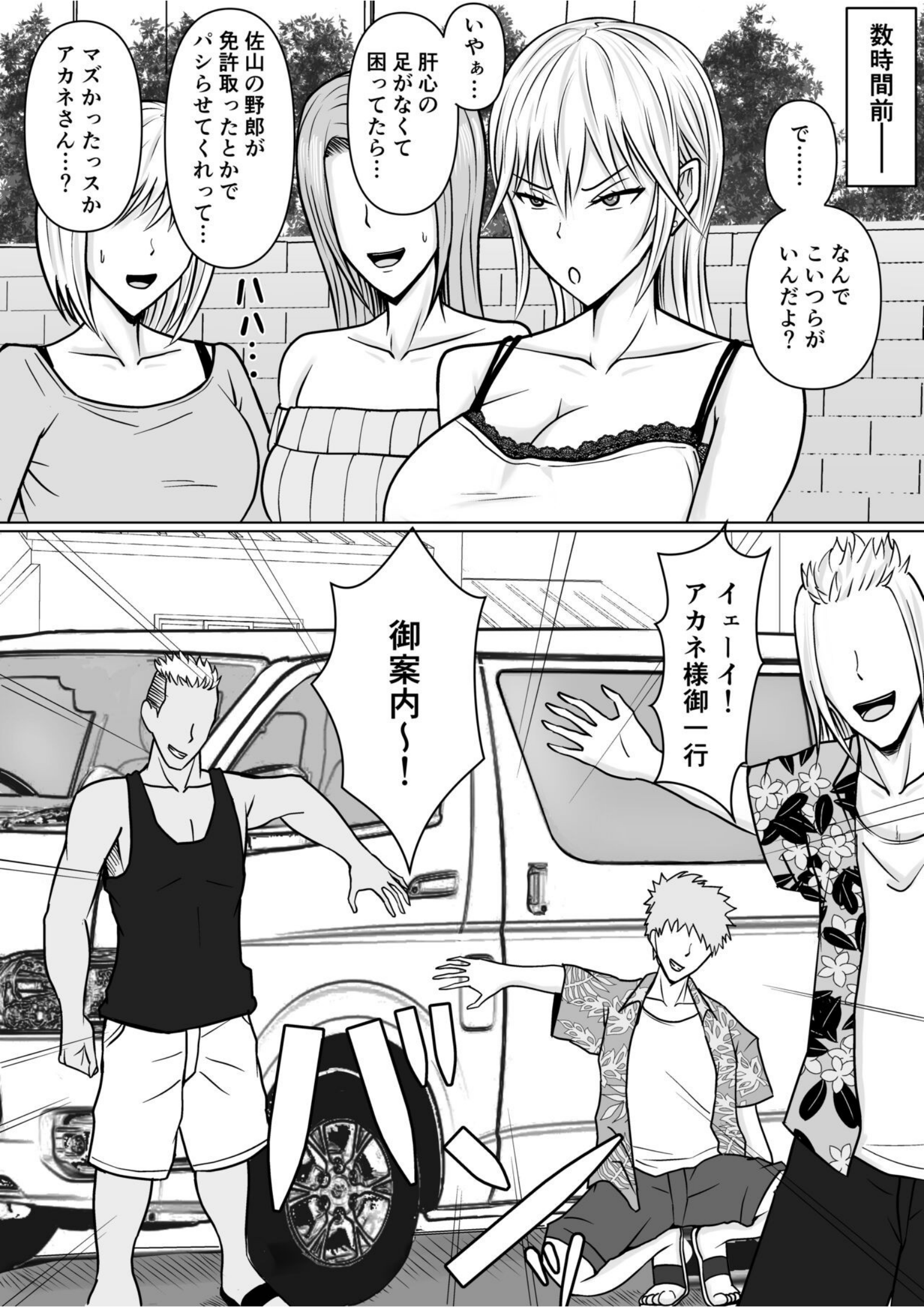

クラスのヤンキー女子に憑依2


海だー!!
ニヒィ
プニーン
プニーン

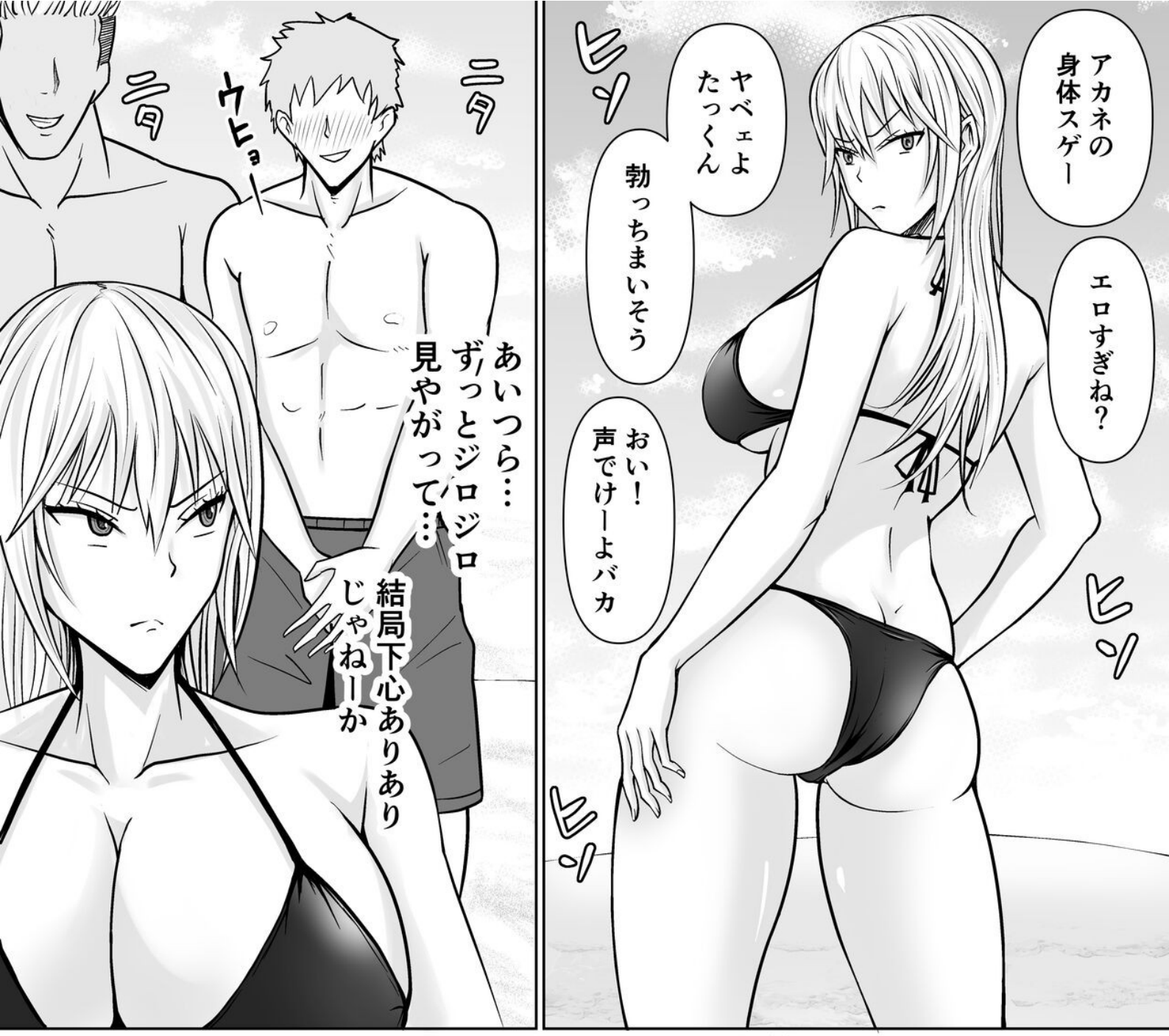

うわっ
スゲェ身体！
ザワ
可愛い…
おっぱい
デカっ
ザワ
前の子ヤベェ
ザワ
彼氏
いんのかな？
オー
ちょっと
アカネさん…！
ヒュー
ウチら結構
目立ってません…？
オォ
お…おう
そうか？
ドキ
ワイ
ドキ
ワイ
ガヤガヤ
ワイ
ワイ


数日前――
準備室
えっ!?
海に行くの!?
誰と!?
いや…あの
取り巻きの
女連中と…
な…なんで!?
何しに!?
何ってそりゃ…
遊びにに
決まってんだろ
なんか
知らねー間に
決まっててよ…
俺だって
行きたい訳じゃ
ねーよ
あんな
リア充の巣窟(そうくつ)…
み…水着は?
は?
いや…
それは今から
買いに行くんだけど…
み…見せて!
はぁ!?
帰ってきたら
見せて!
絶対!

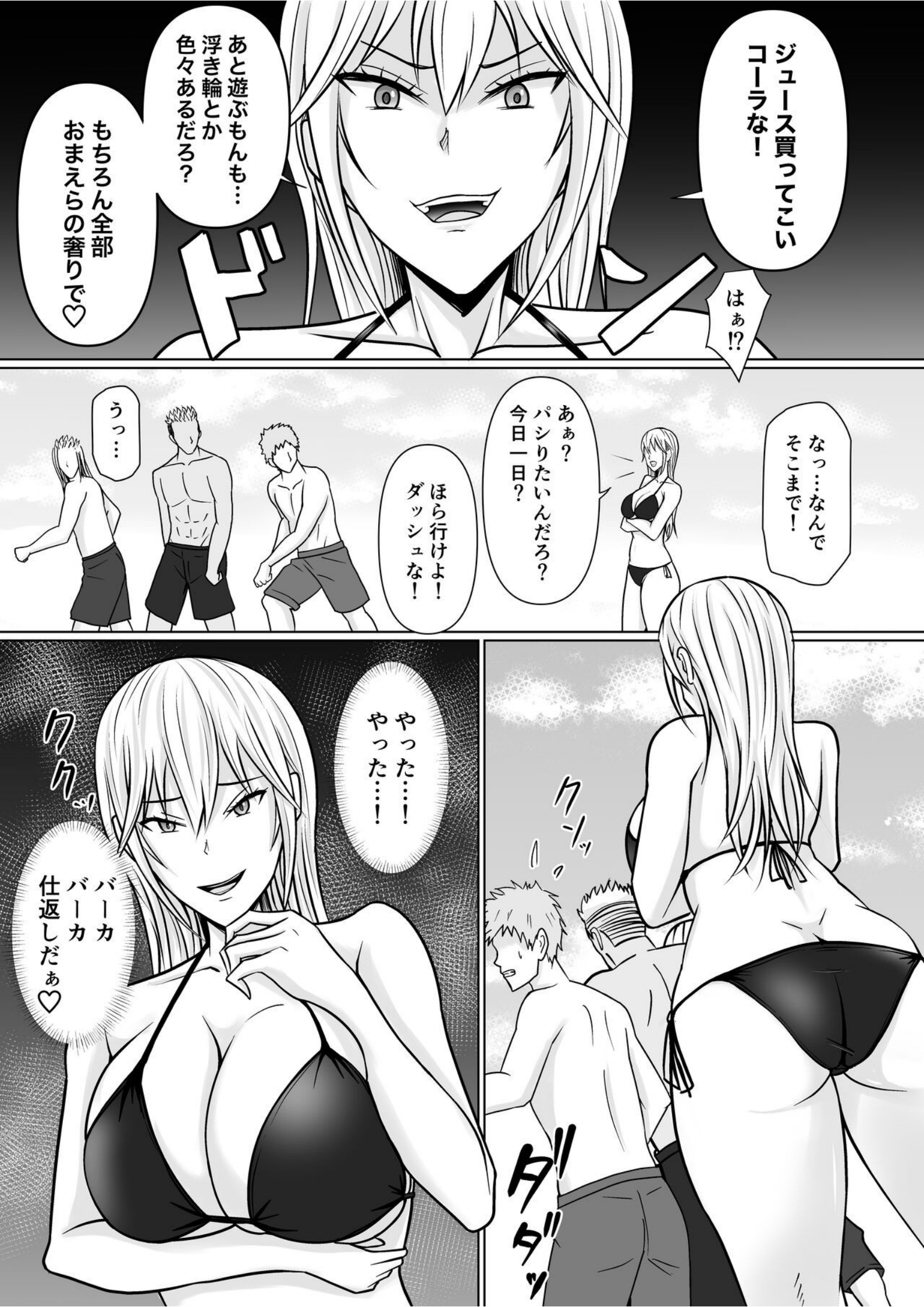

楽しい一日になるはずだったのになぁ
あぁクソッ
チラ…
これ見てバカ男達がすげぇ興奮してらぁ
ちょっとエロ過ぎたかな？
ヘヘッ
クク
ムニッ♡
こいつらさえいなければ…！
ニタ
ニタ
ヘ…
ヒヒッ…


数時間前――
で……
なんでこいつらがいんだよ？
いやぁ…
肝心の足がなくて困ってたら…
佐山の野郎が免許取ったとかでパシらせてくれって…
ハハ…
マズかったっスかアカネさん…？
イェーイ！アカネ様御一行
御案内～！


……
帰る
ちょっ！
ちょっ！
アカネ！
まぁ
待てよ
別に悪気は
ねーよ
俺らも
海行きたかった
だけだからよ
触んな！
いーじゃねーか
一日おめーらの
パシリになって
やるからよぉ
なぁ
アカネ！
……


アカネの身体スゲー
エロすぎね？
ヤベェよたっくん
勃っちまいそう
おい！声でけーよバカ
ヒソ
ヒソ
ヒソ
ニタ
ニタ
ウヒョー
あいつら…ずっとジロジロ見やがって…
結局下心ありありじゃねーか


ん…？
ニヒ
たぷ…
でもそうか…そうだよな
俺は今アカネなんだし…
おいおまえら！


ジュース買ってこいコーラな！
はぁ!?
ド
あと遊ぶもんも…浮き輪とか色々あるだろ？
もちろん全部おまえらの奢りで♡
なっ…なんでそこまで！
あぁ？パシりたいんだろ？今日一日？
ほら行けよ！ダッシュな！
うっ…
クンッ
タッタッ
やった…！やった…！
クク…
バーカバーカ仕返しだぁ♡


どおりゃあああ
どよっ
うひぃ～
身体が軽い軽い♪
ズギャッ
死ねぇっ
オォ
ブフォッ!!
オオー


右だ！
もっと右！
おい！
右だって！
んふ～♡
ジリ…
ジリ…
おりゃあああ！
どわっ!!
なんでだよ!!


ヘヘッ
ザマァみろ
あいつらの
マヌケ面
プカ
プカ
プカ
あぁ
最っ高の
気分だぜ！
ふんふーん♪
何をしても
許される～♪
最強で
最高の身体～♡
チュプ
チュプ
♪～
♫～


ヒヒッ
そろそろ帰るかぁ
ねぇ
シャワー千円って高くない？
えーそんなもんじゃないの？
おい！買ってきたぞ！


ほら
またコーラでよかったか？
えっまた？アカネさん頼んだんすか？
いや違うけど…
なんだ？気持ちわりぃ
口とか付けてんじゃねーだろうなぁ
付けるか！そっちが頼んだんだろーが
まぁいいや
おまえらもパシリが板についてきたんじゃねーか？
うるせーよ
アカネさんどうです海？来て良かったでしょー？
おう…まぁな！
チュー
ゴクゴク
ニタァ


アニキ？
あぁ…
また夢か…
今日どこ
走んだよ？
寝てる時に
よくあるんだよな
この妙に
リアルで…
アカネの記憶が
うわっ
特攻服？
そうだな
6号辺り
責めてみっか
俺の中に
溶け込んでくる
ような感覚
本当にサラシとか
巻いてんだな
アニキ！
おう
アカネ
ん？
ここは…？
ドルン
ガヤ
ガヤ
ドルン


俺が過去に
そこであたかも
経験したかのように
チーッス
チーッス
アカネの記憶が
俺の記憶へと
書き足されていく…
あっ
アカネさん
チーッス…！
飲み物
いかがっスか
プッ
これ佐山か？
本当に
ただのパシリ
じゃねーか
あ…あの…これ
買ってきたんで…
スタスタ
プッ
無視されて
やんの
そうやって
俺はどんどん
オリジナルの
アカネのように
完璧な存在に…！


ん……
んっ……
パチ…
ここは…
車か？
ああ…やっぱり…
寝ちまってたのか…
あれ…
なんか頭が
フラフラするな…
カアッ
やけに
身体が熱い…
ドクン
ドクン
ドクン
それに…
心臓の鼓動が…
よぉ
目が覚めたか
ハッ
ハッ
佐山……
ヒヒ


ウヒョー…
たまんねぇっ
?
!!
な…何やってんだよ…
おまえら…！
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
へへ…
モニ
モニ
おいっ…!!
まぁまぁ…
スッ…
落ち着けって
ビクッ!
はうっ
ピタ


え…
なんだ…今…
触られただけで…
身体に電気が…
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ハッ
ハッ
ハァ
いやぁおまえら
全然起きねーから
焦ってたんだよ
なんだどうした？
具合悪そうだな
もしかして
こいつら…！
おまえら…
何か…
やっただろ…！
フッ
フッ
いーや
フシュー
な～んも
やってねぇよ♡


おい…
どこだここ…
何してんだよ…！
HOTEL
I～305
くそっ…
離せよ！
また明日♡
へへっ
じゃあな
だから
おまえ具合が
悪いんだろ
俺がゆっくり
介抱してやるからよ…
へへ…
一晩かけて
ゆ～っくりとな♡
ハァ
ハァ


ガチャン
くそ…
意識が朦朧として
身体が…
全然動かない…
何か飲まされた？
もしかして…
あの飲み物の
中に…？
へへッ
そうだよ
コーラの中に
入ってたのは
睡眠薬
かなり混ぜたのに
お前だけ目が覚めち
まうもんなぁ
さすが俺の
アカネだぜ
まずい
フーッ
フーッ
おい…
やめろ…
近寄んな…
なんとかしないと
どさっ


やめろー！
離せー！
!!
ドカ
ハァハァ


ハッ
ハッ
ハッ
へへッ…
最高の眺めだ…
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
ハタ
ハタ
ガニッ
フーッ
フーッ
フーッ
フーッ
ギリッ


念願のアカネのパイオツだぜぇ
うおぉ柔らけぇ！
こんな揉みしだける日がくるなんてなぁ！
うはぁ！たまんねぇその表情！
ハァ
ハァ
乳首もこんなにおっ立ててよぉ
まだ薬はしっかり効いてるみてーだな


ずっと身体が熱いだろ？
実はな…睡眠薬とは別にもう一個あるモノを使っててよぉ
フシュー
車ん中に置いてた噴射式の媚薬
ちなみにそっちは俺らも全員吸ってるからよぉ
もうさっきからバキバキなんだわ♡
はぁ…
はぁ…
ビクン
ビクン


な…
なんだこれ!?
いやぁ
中々いいもん
持ってるだろ?
ビキッビキッ
ぬぬ…
顔はちと
ブサイクかも
しれねーが
こっちは結構
モテモテでな
ピト…
意外と結構な女を
泣かしてきたんだよ
これを
よっと…
こうして
ムニュウ
ヘヘッ
天下のアカネの
胸でパイズリだ♡
!!
チンポ
チンポ
チンポ


おい
こっち見ろよ！
おまえの
怒った顔見て
やるのが最高
なんだからよ
……クッ！
あぁっ
なぁこのまま
しゃぶって
くんねぇかなぁ
そしたら
今日はここで
終わりにして
やるからよ
クリ
クリ
プ
プ


おっ？
はう…


なぁ
いいだろ？
ほら
ほら


うおおっ！
危ねぇ…！
おまえいくら
なんでもそれは…
殺す…！
殺してやる…！
ガチッ
まぁいいや
ならこっちを
頂くまでだ…
おらよっ
!?


おい
暴れんなって！
バタッ
バタッ
離せー！
ファサッ…
!!
ハァッ
ハァッ


ハァ
アカネの…
生マンコ…
ハァ
ハァ
スゲェ…
ゴクッ
はぁ…はぁ…
マン汁…
ピチャ
ピチャ
ジュルルルル
ピクッ
ピクッ
ビクッ…！
吸い付くしやる…！
ビクッ
ジュルル


ハァ
ハァ
じゅるるる


ヘッ…ヘヘッ…
どうだ
フーッ
フーッ
バカが…
なんだ?
グニ…
!?
そのヘナヘナパンチは?
ハハッ
まだガッツリ薬は効いてるってことか
……!?
ガバッ
なら
とっとと
お楽しみに
いくとするか
生ハメ
タ~イム♡
ヒッ…
や…!
やめろ…!


こんな事してタダで済むと思うなよ！
ヘヘッこれ以上の事があるかよ
いいからおまえもそこからよーく見てろよ
これからこのぶっといのが
おまえのマンコにずっぽし入るからよぉ
ヌリ
ヌリ
ハァ
ハァ
ハァ
やっとこの時がきた…
何年も何年も我慢した
ズポッ
ズポッ…
ズポッ


あ…あ…あ……っ
入ったぁぁ！
やったぜ！すげーぞ俺！
ついにアカネと生セックスだぁぁ！


なんで…
なんで…
なんだよこれ…
ハァッ
ハァ
ハァ
なんでこんな事になってんだよ…!?
なんで俺が…!
こんな奴と…!
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ

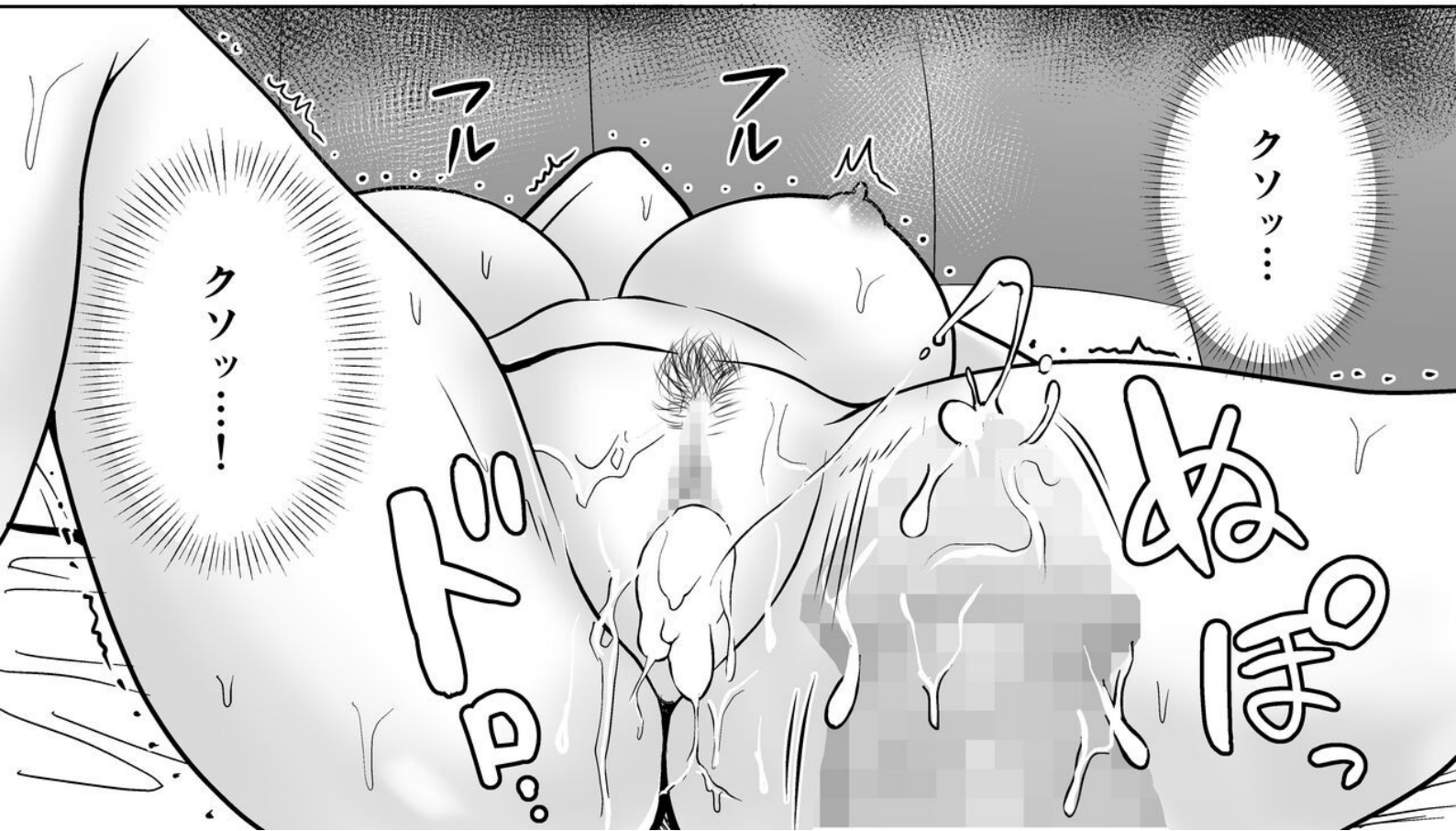

なんで
こんな奴と
セックス
してんだよ…！
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズポッ
ズポッ
あぁっ
すげぇっ！
なんだよ
このマンコ
めちゃくちゃ
気持ちいい
じゃねーか…！
クソエロいな！
クッソヤベェ
おぉ…！
アカネのマンコが
俺のチンコにっ
吸い付いてくる…！
ヌチョ〜ッ
フーッ
フーッ
ズポッ
オラッ!!
んぎっ！


俺…
最強になった
はずじゃん…
アカネになって…
もう誰にも
負けないって…
あぁっ
クソッ
ズポッ
ズポッ
ズポッ
もう
イッちまい
そうだ…！
ズポッ
ズポッ
なのに…！
なのに…！
どうして…！
ビクッ
ビクッ
う


いいよな!?
出しちまっても!
ハッ
ハッ
ハッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
いいよな!?
!?
ヒッ…!
やっ…
やめろ…!
注ぎ込んで
やるからよ…!
俺の精子…!
全部おまえの膣内(なか)に…!
ズッ
ズッ
あぁッ…!
イクッ…!
ズボッ
イクッ…!
ズボッ
ま…待っ
ズボッ
イクッ…!!


ビクッ
ビクッ
ビクーッ!!
ビュッ
ビュルッ
ビュビュビュ


あ…！
ガク
あ…
ガク
ああっヤベェ…！
すげぇ出てる
止まらねぇ…
ドプ
ドプ
ビュッ
ビュー


クソッ…
フル
フル
クソッ…！
ぬぽっ
ドプ。


許さない…！
こいつ…！
こいつ…！
グイ
グリグリ
フーッ
フーッ
そうだ
薬だ
薬さえ抜ければ
こいつなんか
絶対殺して…
グイ
!?
にゅ
ぐぽ…


ボッ
プッ
ビクッ
ガっ
ビクッ
ヘッ
ベッ
クソッ…今…
終わった
だろうが…！
はぁ？
一回で終わる訳
ねーだろが
お楽しみは
これから
だっての
ぺろ…
ずっちゅ
ずっちゅ
ずちゅっ


ズッ
ズッ
ズッ
ラ…ッ
ク…ッ
ク…ッ
ク…ッ
ピクッ
ふ…ッ
ん…ッ
ズッ
ズッ
ズ


ヘヘッ…
バーカ
こっちはもう
とっくに経験済み
なんだよ
あっ？
なんだと？
ガバッ
てめーが
初めてじゃねぇ
って言ってんだよ！
ウソつけ
お前が男いた事
なんて一度たりとも
ねーだろうが
へっ
秘密だバーカ
残念だったな
初めてじゃなくて
ニヤ…
へぇ…
そうか
なら…
グッ…
あっ？
どこの誰がお前と
付き合えるんだよ？


クチュ。
バッ
ガチッ
おおっと
また危ねぇ
ムニュ
おいおい
なんだよ
そのツラァ
思いっきり
初めてって
顔してんじゃ
ねーか
フーッ
フーッ
ゴミ
ゴミ
クソッ
俺のぉ
俺の
初キスがぁ…っ
ズッ
ズッ
ズッ


パン
ズッチュ
ズッチュ
パン
パン
ンッ
ンッ
ンッ
おら出すぞ！
二発目…！
ビク
ビク
ドチュ
ドチュ
ドチュ
ドチュ
ビク
ビク
ンッ
ンッ
ンッ
ラララ～


ラグラグラグッッ
ビクビクビクビク
ビュービュービュービュービュービュー


ちくしょう
ちくしょう
アーーッ


フーッ
フーッ
ラ…
フーッ
ピク
ピク
ビュルッ
ビュルッ
あぁ…
俺の子種たちが…
おまえの中に
入っていく…
たまんねぇぜ
この
圧倒的支配感…！
ハァ
ハァ
もう…
いいだろ…
早く抜けよぉ
ガシッ
!?
ゲイッ
おらっ
こっちこい！
まだまだ
ヤり足らねぇ
っての！


なぁ？
もう
こうなっちまったんだ
観念して
一緒に楽しもうぜ
それに
いい加減
分かって
くれよ
俺はお前のこと
本当に心から
愛してんだぜ？
ヒヒッ
スポスポ
!!
死ね！
死ね！
死ね！
フーッ
フーッ
フーッ
フーッ
グッグッ
グッグッ
グッグッ
カハッ…


このクソ野郎が！
殺す…！
殺してやる…！
……クッ
ハッ
ハッ
ハッ
ギュウウウ
ズル…
ズブ
ズブ
ビクン


ビクッ
ビクッ
ビクッ
なら…
根比べだ…！
ビクッ
ビクッ
あああああ
ドチュ
ドチュ
ドチュ
ドチュ
おら
どうした!?
ラッ
ラッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
全然絞まってねーぞ！


うぐッッ
ラッ
ぐぽ
ぐぽ
パン
パン
ガシ
なんだおまえ
めちゃくちゃ
感じてんじゃねーか
ビク
ビク
ビク


あッ
ガッ
俺の…！
ここか？
ん？
ズブ
ズブ
あッ
ぐッ
ぐッ
俺のぉっ！
おっ
ここかっ！
弱点
みっけ！
ズブ
おぉ
俺の
マンコがぁっ…！
ズキン
ズキン
おぉ
あぁ
ズン
ズン
ぐちゅ
ぐちゅ


こんな
ビクッ
ビクッ
オラ
イけっ！
ドチュ
イけ！
ドチュ
こんな
簡単にぃ
ビクッ
ビクッ
こんな奴のっ
チンポでぇっ
ドン
ドン


頭が…
真っ白に…
あっ…
んっ…
トっ…
あぁ…！
すげぇ…！
締まる…！
ヤベェ
このマンコ…！
痙攣してんのか？
膣肉が波打って
やがる…！


ドサッ
グッ
ズポン
ハッ
ピク
あっ
はっ
ピク
あっ
ハァ
ハッ
ハァ
アル
アル
アル
ピクッ
ピクッ
キュン♥
キュン♥
ギュウッ


ピク
ゴポ
あぁ
出た出た♡
うわぁ
ヤベェな
この量
もしかしたら
孕んじまうかも
しれねーな
ゴポ
こ…殺しゅ…
殺して…
やりゅ…
ハッ
ハッ
おいおい
なんだそれ
イキながら
言っても
説得力ねーぞ
でもまぁ…
!?
ビクッ
溜まってんなら
出さねーとなぁ♡
ズポッ


ヒヒッ
もうお前の弱点は
分かったからな
ぐちゅ
ぐちゅ
あぁ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
あぁぁ
おらおら
どうした!?
腰くねってんぞ!
嫌いな男の
指だぞ!?
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
あぁ
あぁぁ


おらっ
我慢すんな！
イけ！
イっちまえ!!
ぐちょ
ぐちょ
ぐちょ
ぐちょ
ぐちょ
ぐちょ
ぐぐぐうぅっ
ズボン
ブシュウッ
いいんギ


イヤイヤ
ポンヤァ
ガク
ガク
な…
なんだこれ…
潮…？
これ全部…
俺のマンコから
出てんのかよ…!?
ビー
ビー


あッ
はッ
あッ
ビクン
ビクン
ビクン
ハハッ
やーっと
大人しくなったな
ハッ
ハッ
ガクッ
ビクン
ビクン
ピュー
ピュッ
ピュッ
フー
フー
フー
ズプッ
ギシ
ギシ
ギシ
んっ…
んっ
はっ
あっ


チュン
チュン
HOTE
うっ
あっ
アッ
ズキッ
ズキッ
ズキュ
うっ
んんんっ
ドピュ
ドピュ
ドピュ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ピク
ピク
ピクッ
ぬぽっ
ふい〜最高♡
出した出した
一旦休憩するかぁ
トイレ
トイレっと
ゴプォ…
だらぁ〜
へへっ
待ってろよ
アカネ
まだまだ
愛して
やっからな♡


お…
終わった？
ハッ
ハァ
ハァ
ハッ
ハァ
クソ…
クソ…
あのクソ野郎…！
今の内に…
逃げないと…
ムクッ…
グッグッ
……ッ
ハァ
ハァ
タラ～
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ


クソッ
出ろ…！
出ろよぉ…！
フーッ
フーッ
フーッ
んっ…
ビクッ
クソッ…
違う…！
こんなの…！
薬なんか
飲まされて
なきゃ
フーッ
フーッ
フーッ
ピク
ピク
あいつを
ボコボコに
してやるのに…！
ピク
ボタ
ボタ
明日だ…！
ハァ
ハァ
ハァ
今はここから
逃げて
明日になったら
必ず…
ガシッ
!?


おいおい
どこ行くんだよ
グイッ
真っ裸で外
出るつもりか？
離せ！
もういいっ…
だろうがっ…！
ムニィ
ビクッ
はぁ？
これからだろ
お前もだんだん
分かって
きたんじゃ
ねーか？
俺のチンコの
良さがよ
ビキッ
ほら
今ゆ～っくり
挿れてやっから
ビクッ
ズプゥ…
たっぷり
味わえって♡
ビキッ


違うっ…！
俺は…俺はっ…
アカネに
なったんだ
ズポッ
こんなチンポで
感じるっ…
普通の女
じゃないっ…！
ビクッ
俺はっ…
俺はっ…
特別なっ…！
ズポーン
キュンッ


特別な
女なんだぁっ…！
おほぉ
ビリッ
ビリッ
ズボッ
違うっ…
感じてなんか…
ハッ
ピク
パク
ハヒィ
ハヒッ
じゅ…
ふんっ
ビク
ビク
ビギュ～
あぁほんと
たまんねぇぜ
このムチムチな
身体♡


ビクッ
ん…っ
あぁっすげぇ締めつけ…！名器過ぎるんだっつの…！
ムギュッ
ヌチュヌチュ
違うっ…！こんな奴とセックスするために
やめ…
パンッ
ハァ
ハッ
アカネになったんじゃない…！
あっ
ぁっ
クニッ
ぱちゅ


こんな奴のチンポで感じる
女になるわけがっ…！
ふっ
んんっ
ビクッ
ズキッ
ズキッ
ビクッ
ズリュ
ズリュ
ばちゅ
ばちゅ
キュンッ
キュンッ
ばちゅ


あぁっ
やぁっ
あぁっ
パンッ
ああっ
気持ち良すぎるぜっ
おまえん膣内よぉ！
それっ
やめっ…！
突き上げっ
るなぁっ…！
じゅっぽ
んんッ
じゅっぽ
トントントン


あっ
おっ
おっ
もうっ 今日から 毎日ハメ倒してやるからな！
ここがっ 俺のチンコの形になるまで！
おっ
ヤリだっ
あおっ
パン
パン
パン
パン
んんっ
んんっ
プル
プル
ポタ
ポタ
ズン
ズン
ズン
ズン
おまえがっ 俺の メス犬に なるまでっ！


これからおまえを
ドスケベな
淫乱女に
変えてやる！
俺のチンポ無しじゃ
生きられない
ドスケベな女にな
イヤだ――
ビク
ビク
イヤだ――
ズボ
ズボ
変えられたくない――
こんな奴に――
こんな
チンポに――
ビク
ビク
屈したく
ないいいっ
ズボ
ズボ


だからオラッイケッ！このメス犬!!
ビリ
ビリ
ひぃ
ううう
ビリビリ
ビリ
ビリ
ゴプッ
ゴプッ


はぁ
はぁ
はぁ
ドクドク
ガクガクー
ガクッ
ビュルルル
ゴピュッ
ビュー
ビュルルッ
ビュルッ
ドプッ
ドプッ
ビクッ
ビクッ
ああっ
やべぇ…
獣の種付け
みてぇだ
おっ
おっ
ピクッ
ピクッ


プシャアアッ
フッ
フッ
ビクッ
んっ
ブパッ
んんっ…
んっ
んっ
んんっ
ブルブル
プシャアアアア
じょろ
じょろ
おいおい
イキながら
失禁してんじゃ
ねーか
ハハッ早速
嬉ションかよ？
じょろ
じょろ
ビクン
アカネ様の
放尿シーンだ
こんなの
録るしかねぇ♡
スマホスマホっと
ハッ
ハッ
ハッ
To Be Continued

クラスのヤンキー女子に憑依2

あとがき

「クラスのヤンキー女子に憑依2」を
ご購入頂き誠にありがとうございます！

次回からはこのシリーズで一番描きたかった
パートです。
主人公が普段の生活や友達の前では
強気なアカネを演じるも
ヤンキーに呼び出され、たちまちエッチな事を
されると
反抗しながらも徐々に快楽に溺れていく…
そんな様を
上手く描写できればなと思っています。

夏が終わる頃までには仕上げられたらなぁと！

是非お楽しみに！

発行日2024.4.25

滝野みしん